



立場の違いこえて、

日本共産党

練馬区から

憲法9条改悪許さない確かな力

# とや英津子を都政へ

安倍首相が2020年までに9条の改悪を表明

安部首相は、5月3日の憲法記念日に、憲法9条の改訂で「自衛隊」を条文に明記し、2020年に施行すると表明しました。これは憲法9条2項を空文化＝死文化し、海外での武力行使を無制限に可能にする極めて危険な発言です。日本の平和と安全を守るため、9条改悪阻止・海外で戦争をする国づくりストップは、いま待ったなしの緊急課題です。

核廃絶、平和守る運動が私の政治活動の出発点

私は幼い頃から、同居していた祖母から「戦争は二度としてはいけない」と、戦争の悲惨さを学んで育ちました。大学1年の時、核兵器廃絶運動に共感し平和運動に参加し、政治活動に目覚めて日本共産党に入党しました。日本を戦争する国にする憲法改悪は絶対許せません。

力を合わせて首都東京から、戦争をする国ノ一、憲法改悪ノ一の声あげましょう。

『力を合わせれば政治は変えられる』

とや英津子の原点

## 練馬の保育・学童運動の先頭で奮闘しました

結婚後、3人の子供の母親として保育園の父母会を設立。また、学童クラブの職員削減反対運動では事務局長として活動し、区内で20万人署名に取り組み削減をストップさせました。この時経験した「力を合わせれば、必ず政治は変えられる」との思いは、私の政治的確信であり、生き方の原点です。



元気な3人の子供とといっしょの私（1998年頃）

## 練馬区議として4期14年区議団の大黒柱として活動

03年「政治を変えたい」との思いから、練馬区議員選挙に立候補し当選しました。

2期目から区議団幹事長として活動し、団長も歴任。野党共闘の調整につとめ、戦争法反対の意見書を共同で提出するなど、政治を変える仕事を実践しています。



6名の日本共産党区議団

## 練馬区民のいのちを守るため全力で奮闘

練馬でおきた赤ちゃんの死亡事故。「救える命を助けてたい」—その思いで、私は区議会で医療の充実に力を尽くしてきました。区民アンケートで実態をつかみ、署名活動を行い、議会で追及・交渉し、一步一步病院やベッド数を増やすことができました。



都に「練馬の医療充実を求める要請書」を提出（16年5月）

日本共産党が伸びれば野党共闘が発展  
憲法改悪・国民監視の「共謀罪」ノ一、原発ゼロの日本へ

私達も共に頑張ります



日本共産党衆議院  
東京9区予定候補  
比例東京ブロック予定候補  
原 純子



日本共産党衆議院  
東京10区予定候補  
岸 良信